

私は小学校一年生の時にけん玉を始めました。きっかけは同じクラスの男の子がとても上手にやっているのを見て、面白そうだなあと思ったことでした。そして、家に使われていないけん玉があることを思い出し、練習し始めたのです。最初は大皿に乗せるのすらままならなかったのですが、三年生になってからは一緒にけん玉をやる友達ができ、毎日毎日、休み時間はずっとけん玉をやるようになりました。色々な技ができるようになり始めたのは、新しいけん玉を買ってもらった時からだと思います。その時、初めて自分のけん玉を買ってもらえてすごく嬉しかったのを覚えています。それからというもの、様々な技を試してみたいと強く思い、毎日練習するようになりました。六年生の受験が近づいた頃にはほとんど色々な技ができるようになり、勉強の合間の休憩でもよくけん玉をしていました。沢山の技ができるようになったことで更にけん玉が楽しく感じ、技が出来た時の喜びや達成感も知ったのです。

そのけん玉はまだ使い続けていますが、最近新しいものを買いました。その理由は、先月初めてけん玉検定を受けに行った所に有段者の人が沢山いて、今まで生で見たことのなかったような難易度の高い技を使いこなしている人達の影響を受けたからです。そこでは私が出来なかった技のコツを指導してくれたり、その技がやりやすいけん玉を紹介してくれたり、色々なことを親切に教えてくれました。そして習った事を参考にして今月もう一度検定に挑戦したのですが、前回落ちてしまった級の、また一つ上の段位に合格することができました。私は改めてけん玉の楽しさを感じました。

今回、検定の会場で一つ思ったことがありました。それは、けん玉をする人の年齢層がとても広いということです。小学校低学年の子達もいれば、八十歳ぐらいの人もいて、どの世代にも人気があるのだなあと、改めて思いました。そこにいる人達はとてもフレンドリーで話しやすく、中には、けん玉をやる同志が集まるイベントなどで友達を沢山作ったと言っている人もいました。けん玉をしていると楽しく、友達も増え、すごく良いものであると実感しました。

けん玉にはまず利点があります。それは身体中の筋肉を使うため、スポーツと言っても過言ではないという事です。見ているだけではそのように見えないかもしれませんが、十分間やるだけでも、ものすごく汗をかき、疲れてしまいます。けん玉は常に膝を曲げてリズムをとっているため足も疲れますし、空中に浮いている球の穴の位置を見るための動体視力、その穴にけん玉を挿す正確さ、そのすべての事をするための集中力など、けん玉をするだけで色々なことが一度に鍛えられます。特に、集中力はとても強くなると思います。

私はけん玉検定の存在は知っていましたが、それを受けようとは思っていませんでした。しかし、今回挑戦してみたことで、上手な人の技を間近で見ることができ、大きな刺激を受けました。そして、もっと上の段を目指していきたいと、初めて思うことができました。けん玉をやるときはいつも気持ちを集中し、成功する事をイメージし臨みます。

その前向きな気持ちはテニスの試合や勉強や部活にも活かすことが可能だと思いますので、これからも新しい技を習得しながら、長く続けていきます。